

「ば・る・るプラザ青森」完成に当たって



青森市長
佐々木 誠造

「ば・る・るプラザ青森」が完成し、オープンしましたことを、心からお祝い申し上げます。

「ば・る・るプラザ青森」は、これまで1,000人程度の中規模のホールが求められていた本市にとって、待望の施設であり、市の重点要望項目として総務省（元郵政省）及び県などに対し積極的に要望活動などを行ってきた結果、山口市、京都市、千葉市、町田市に次ぐ全国で5番目の郵便貯金地域文化活動支援施設として、オープンの日を迎えることができましたことを心からうれしく思っています。

施設の内容につきましては、ホール、会議室、レストラン、青森情報プラザ、暮らしの相談センター、郵便局などの機能を有しており、特に、ホールの音響設備は素晴らしいものであり、平成13年9月のオープン以降、青森市民のみならず、多くの皆さまに幅広く利用されています。

また、随所に、青森ヒバや津軽塗りを使用し、施設そのものとしても青森らしさをPRしていただくなど、本市の玄関口にふさわしく、中心市街地を代表する施設になるものと確信しているところであります。

「ば・る・るプラザ青森」が建設されましたこの地域は、JR青森駅を含む本市の中心市街地に位置しており、これまでその活性化に向け、様々な施策や事業を積極的に展開してきたところであります。

具体的に申し上げますと、起業意欲のある人たちに少ない開業資金で一定期間商売を実践できる環境を提供するとともに、経営指導等も行いながら、将来的に中心市街地で開業する商業者を育成するための「パサージュ広場」を平成12年にオープンしたほか、公的施設として市民図書館、男女共同参画プラザを含みます青森駅前再開発ビル「アウガ」が平成13年1月にオープン

するなど、若い人を中心に賑わいをみせており、中心市街地、特に、駅前地区に活気を取り戻してきております。

また、この駅前地区は、JRを中心とした交通の拠点でありますとともに、八甲田丸、青森県観光物産館アスパムを中心としたウォーターフロントの玄関口、さらには、日常的に気軽に利用できる潤いのある文化的な都市空間を形成する「文化ゾーン」の一地区としての役割も担っているところであり、去る11月に取得しました「ば・る・るプラザ青森」の南側用地約11,000㎡と併せまして、更なる活性化に向けた取り組みが予定されているところであります。

本市は平成13年3月に長期総合計画「わたしたちのまち 青い森 21世紀創造プラン」の中期基本計画を策定し、①真の豊かさを享受できる心豊かなまち、②歴史・風土に学ぶ心を大切にする個性と風格のあるまち、③人と人とが助け合い、支え合って暮らすしあわせなまち、④活気に満ちた産業のある元気なまち、⑤世界に開かれた明るいまち、⑥共に考え、共に汗して創るうれしいまちの6つのビジョンの実現に向け取り組んでいるところであり、自己決定・自己責任の地方分権の時代に適切に対応し、21世紀の新しいまちづくりを実現するためには、市民の方々と共に手を携え、共に知恵を出し合い、共に汗して取り組まなければならないものと考えております。

「ば・る・るプラザ青森」は、「地域住民が豊かな学習、文化、余暇活動等に多目的に利用できる」ことを目的とした施設でありますことから、「ば・る・るプラザ青森」が、市民とのパートナーシップづくりの拠点のひとつとして活用され、親しまれ、その結果として、中心市街地の活性化、さらには、6つのビジョンの実現に資することを願っているところであります。